

標準使用機械

使用機械・設備	形状	台数	備考
破砕機	エキスパンディット	1台	管径によって機種を選択
チェーン引込装置		1台	
押し込み装置		1台	
エンジン式油圧ユニット		2台	●チェーン引込装置用 ●エキスパンディット、押込装置用
操作盤		2台	●チェーン引込装置用 ●エキスパンディット、押込装置用
トラック	クレーン付	1台	

施工可能な管径

● 新設管として推進工法用コンクリート管を使用する場合    ● 新設管として推進工法用塩ビ管を使用する場合

既設管内径(mm)	200	250	300	350	400	450	500	600
200	● ●							
250	● ●	● ●						
300	●	● ●	● ●					
350	●	● ●	● ●	● ●				
400		●	● ●	● ●	● ●			
450			●	● ●	● ●	● ●	● ●	
500					●	●	●	●
600					●	●	●	●

施工実績

施工年月	施工場所	工事件名	工事内容	施工延長(m)
平成16年 6月	宮城県	公共下水道改築工事	φ250 → φ200の下水管	35.00
平成17年11月	千葉県	公共下水道改築工事	φ250 → φ250の下水管	17.30
平成17年12月	兵庫県	鉄道盛土横断排水管	φ250 → φ300の伏せび	9.00
平成18年 1月	兵庫県	鉄道盛土横断排水管	φ250 → φ300の伏せび	21.50
平成19年 2月	福岡県	鉄道盛土横断排水管	φ460 → φ600の伏せび	18.00
平成19年 5月	千葉県	公共下水道改築工事	φ300 → φ300の下水管	20.70
平成19年11月	京都府	公共下水道改築工事	φ250 → φ250の下水管	27.09
平成19年11月	東京都	公共下水道改築工事(1)	φ300 → φ350の下水管	25.50
平成19年11月	東京都	公共下水道改築工事(2)	φ300 → φ350の下水管	10.90
平成19年11月	東京都	公共下水道改築工事(3)	φ300 → φ350の下水管	47.90
平成20年12月	鳥取県	鉄道盛土横断排水管	φ460 → φ500の伏せび	33.40
平成21年12月	東京都	公共下水道改築工事(1)	φ230 → φ300の下水管	24.95
平成21年12月	東京都	公共下水道改築工事(2)	φ300 → φ350の下水管	26.65
平成21年12月	東京都	公共下水道改築工事(3)	φ300 → φ400の下水管	20.35
平成22年 2月	東京都	公共下水道改築工事(4)	φ230 → φ400の下水管	40.55
平成22年 3月	東京都	公共下水道改築工事(5)	φ250 → φ300の下水管	30.45
平成22年 3月	鳥取県	鉄道盛土横断排水管	φ460 → φ500の伏せび	20.00

非開削で新管に入替える画期的な工法

▶▶▶  
**EXP工法**  
(旧：エコTMS管入替工法)

EXP工法協会

大林道路株式会社    東亜グラウト工業株式会社    株式会社イセキ開発工機  
五十嵐建設工業株式会社    東洋テックス株式会社    東邦ガステクノ株式会社

お問い合わせ先：EXP工法協会

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-8 赤坂コミュニティビル8F (株)イセキ開発工機内  
TEL 03-6844-3627 FAX : 03-6844-3628 Email : kan@eco-tms.jp

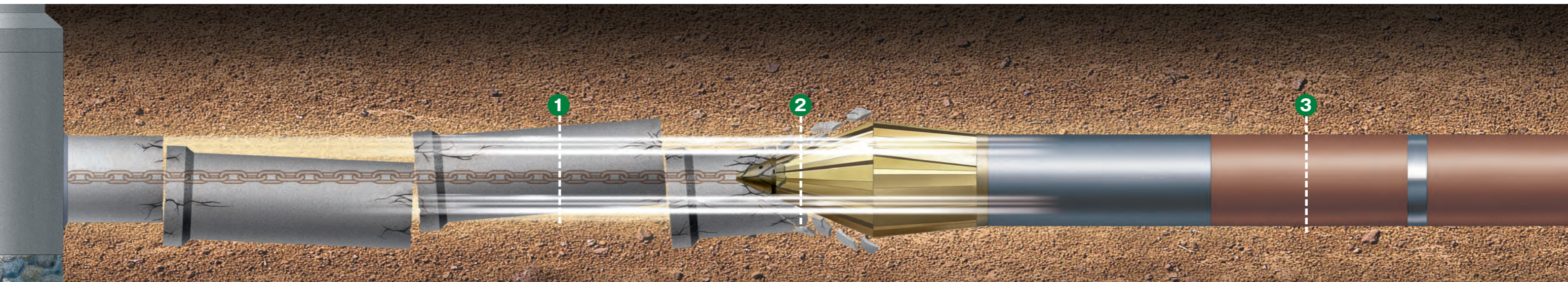
EXP工法協会はすべての工法で環境配慮に取り組み、開発から施工まで環境負荷低減（リサイクル性、省資源性、省エネルギー性等）を追求しています。

EXP工法協会



# 更生不可能な段差、扁平を一直線に新管布設！

EXP工法は非開削の管路リニューアル工法です。



油圧で作動するエクspanディット(拡張破砕機)を既設管内に挿入し、拡張破砕した空隙に「押し込み装置」で新管を押し込んでいく、非開削かつ無排土で施工できる環境対策改築推進工法です。

## 特長

### 非開削・無排土



既設管を内側から拡張・破砕し、非開削で入替える工法のため、排出土と廃棄物が発生しません。

### 高品質



新管にコンクリート管、塩ビ管、セラミック管を使用するので、高い品質と耐久性を保證します。

### 管径アップ



既設管と同位置に同径以上の新管に入替えが可能で、流下性能がアップします。

### 高能力

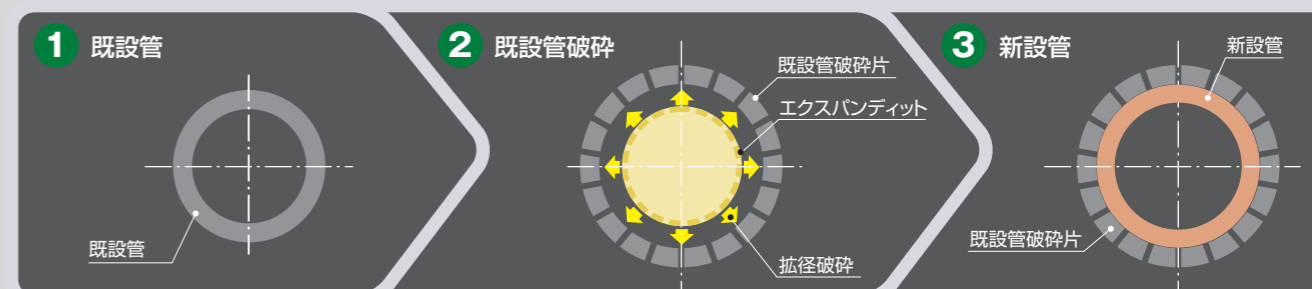


継手部の段差や屈曲にも適応でき、扁平化して歪んだ塩ビ管等も、新管に入替え可能です。

### 環境保全



周辺地盤への影響は、解析により大きな地盤変状は起こさないことを確認しています。



## 技術の適用範囲

既設管径	呼び径 200~600mm
既設管種	コンクリート管、塩ビ管、陶管
新設管径	呼び径 200~600mm(既設の50~100mmアップ可能)
新設管種	推進工法用(コンクリート管、塩ビ管、セラミック管など)
施工延長	最大100m
立坑	径1.5m~2.0m、φ200、250の場合は1号人孔も可能



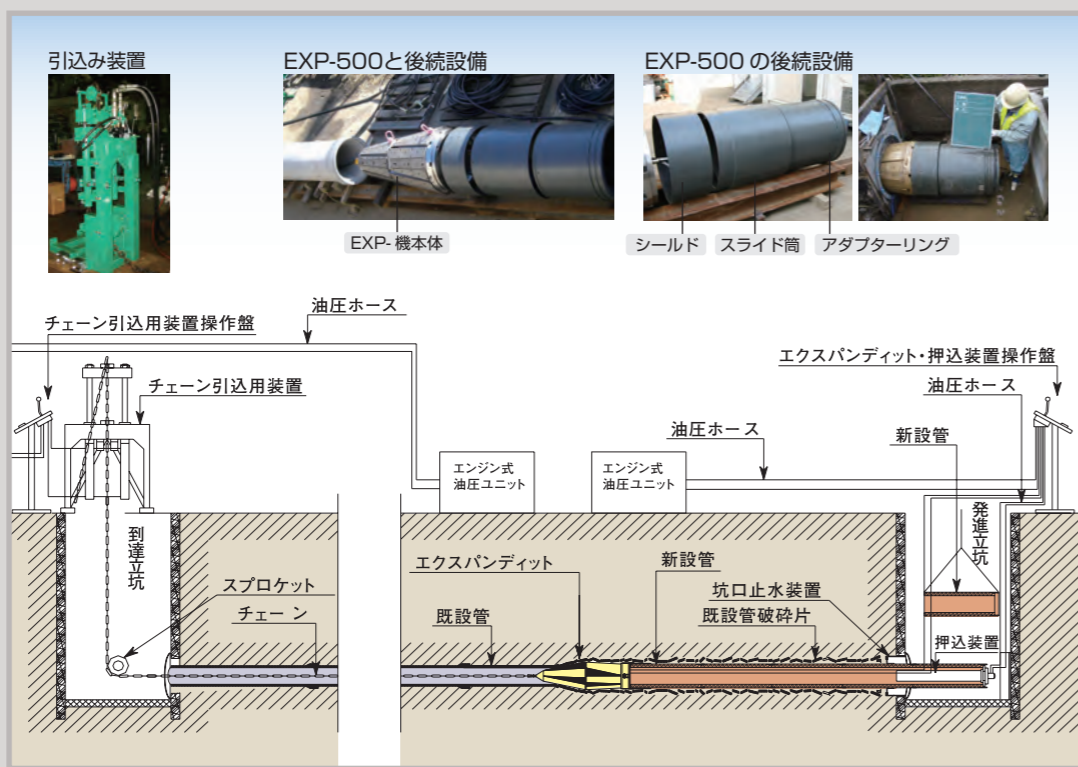
発進立坑内の先導体(EXP-RS600)



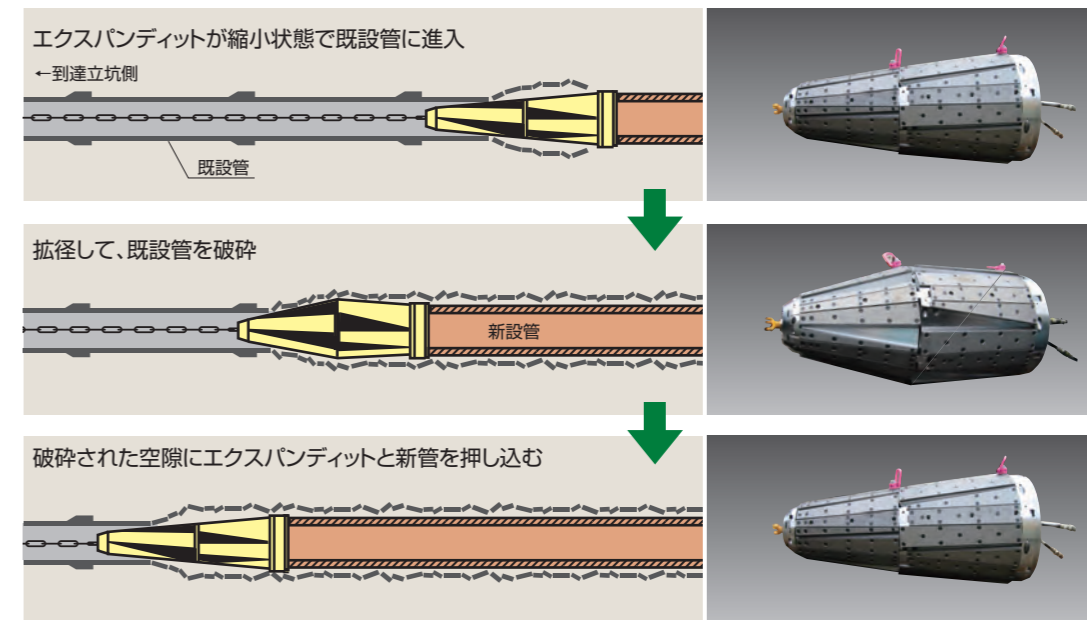
到達立坑内の引込み装置(LW56)



到達立坑内の先導体(EXP-200)



## エクspanディットの稼働状況



以降、同様に繰り返す。

## エクspanディットの拡張・収縮状態